

【機器構成内容】

品名	メーカー	数量
全自動尿中有形成分分析装置	シスメックス	1式
(構成内容)		
全自動尿中有形成分分析装置UF-5000 BN344411	シスメックス	1
UF-5000 サプライパーツ(JP) AS598115	シスメックス	1
PU-17(100Vケイ ホワイト) 01330057	シスメックス	1
U-WAM(JP) BE198113	シスメックス	1
CV-11 AN993713	シスメックス	2
CV-11 サプライパーツ(JPN) AV780287	シスメックス	2
CONNECTION KIT(US-CV) BK694666	シスメックス	1
CONNECTIONKIT2(UF-CV) CZ580769	シスメックス	1

【性能・機能に関する要件】

1 尿搬送システムは、尿定性装置と尿中有形成分分析装置を有機的に結合されていること。
2 尿中有形成分分析装置については以下の要件を満たすこと。
2-1 測定項目は、赤血球、白血球、上皮細胞、扁平上皮細胞、円柱、細菌の6項目で定量値を報告できること。
2-2 白血球凝集、非扁平上皮細胞、硝子円柱、非硝子円柱、結晶、酵母様真菌、精子、粘液糸の8項目の半定量表示が可能であること。
2-3 研究情報として、赤血球形態情報（「Dysmorphic」又は「Isomorphic」）、細胞グラム染色性情報、UTI情報（尿路感染疑い）が出力可能であること。
2-4 専用の体液測定モードを有し、赤血球数、白血球数、白血球分類（単核球、多核球）を測定できること。
3 尿の遠心分離や標本作成等の前処理が不要であること。
4 測定原理に青色半導体レーザーを用いたフローサイトメトリー法が採用されており、保険点数「D002-2 尿沈渣（フローサイトメトリー法）」の保険請求が可能なこと。
5 分析装置の1時間あたりの検体測定数は105検体以上であること。
6 サンプラモードにおける所要検体量は、2 mL以下であること。
7 緊急割り込み割り込み測定が可能なこと。
8 緊急割り込み測定における所要検体量が0.6ml以下であり、微量な検体にも対応できること。

9 測定結果画面は、日本語で構成されており、尿中の有形成分を装置が自動的に14項目に分類表示が可能なこと。
10 測定結果画面では、測定値の単位' / μ L' から、「/LPF」、「/HPF」に換算されたデータの表示が可能なこと。
11 顕微鏡での目視確認が必要な検体を、測定結果から判定することができ、モニター上での再分類作業等を必要としないこと。
12 記憶機能として100,000検体以上の測定データを記憶できること。
13 障害発生時のエラー画面はガイダンス式になっており、取扱説明書とリンクする機能を有すること。
14 メーカーによる外部精度管理（年12回）に参加可能であること。
15 オンライン精度管理で全国集計のデータとリアルタイムに比較する機能を有すること。
16 検査システムとの双方向接続を行ない、検査依頼の受信、検査結果の送信できる機能を有すること。
17 装置の維持管理、精度管理に有効なネットワークサービスを提供し、かつそれに対応した機能を有すること。